病理							
臨床研修期間(2年間))						
病院名 (60病院)	医療圏						
横浜労災病院							
昭和医科大学藤が丘病院							
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	_						
横浜旭中央総合病院 菊名記念病院	_						
汐田総合病院	-						
昭和医科大学横浜市北部病院	-						
済生会横浜市東部病院							
済生会横浜市南部病院							
横浜南共済病院							
横浜栄共済病院	横浜						
横浜市立大学附属病院	_						
横浜市立みなと赤十字病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター	-						
横浜中央病院	_						
けいゆう病院	_						
横浜医療センター							
横浜市立市民病院							
国際親善総合病院							
戸塚共立第1病院							
東戸塚記念病院	_						
聖隷横浜病院							
帝京大学医学部附属溝口病院	_						
聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部						
川崎市立多摩病院 新百合ヶ丘総合病院	711401 40 00						
虎の門病院分院							
関東労災病院							
川崎市立川崎病院							
医療法人社団こうかん会日本鋼管病院							
川崎協同病院	川崎南部						
川崎市立井田病院							
日本医科大学武蔵小杉病院							
川崎幸病院							
相模原病院 北里大学病院	— 相模原						
相模原協同病院	1012//						
横須賀市立総合医療センター							
横須賀共済病院							
横須賀市立市民病院	横須賀·三浦						
湘南鎌倉総合病院							
大船中央病院							
藤沢市民病院							
湘南藤沢徳洲会病院	****						
藤沢湘南台病院	湘南東部						
湘南東部総合病院 茅ヶ崎市立病院	_						
平塚市民病院							
平塚共済病院	_						
東海大学医学部付属病院	湘南西部						
伊勢原協同病院							
秦野赤十字病院							
大和市立病院							
海老名総合病院							
厚木市立病院							
東名厚木病院	_						
湘南厚木病院 小田原市立病院	+						
山近記念総合病院							
神奈川県立足柄上病院							
11 22 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							

専門医研修期間(標準3年間)								
基幹施設名(5病院)	2次医療圏	地域群	基幹•連携施設名	2次医療圏	地域群			
北里大学病院	相模原	В	相模原病院	相模原	В			
			横浜労災病院	横浜	С			
⇒			横浜栄共済病院	横浜	С			
			関東労災病院	川崎南部	С			
湘南鎌倉総合病院	横須賀·三浦	В	湘南藤沢徳洲会病院	湘南東部	В			
東海大学医学部付属病院	学医学部付属病院 湘南西部	В	伊勢原協同病院	湘南西部	В			
			大和市立病院	県央	В			
			海老名総合病院	県央	В			
			日本鋼管病院	川崎南部	С			
横浜市立大学附属病院	横浜	С	神奈川県立足柄上病院	県西	Α			
			横須賀共済病院	横須賀·三浦	В			
			藤沢湘南台病院	湘南東部	В			
			藤沢市民病院	湘南東部	В			
			茅ケ崎市立病院	湘南東部	В			
			平塚共済病院	湘南西部	В			
			けいゆう病院	横浜	С			
			横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	С			
		神奈川県立こども医療センター		横浜	С			
			横浜保土ケ谷中央病院	横浜	С			
			横浜南共済病院	横浜	С			
			神奈川県立循環器呼吸器病センター	横浜	С			
			済生会横浜市南部病院	横浜	С			
			神奈川県立がんセンター	横浜	С			
			横浜栄共済病院	横浜	С			
			横浜市立市民病院	横浜	С			
			横浜医療センター	横浜	С			
聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	С	相模原協同病院	相模原	В			
			聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	横浜	С			
			川崎市立多摩病院	川崎北部	С			
			聖マリアンナ医科大学東横病院	川崎南部	С			

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
横須賀・三浦	В	横須賀市立市民病院	339	各診療科の医師数は十分とは言えず、診療科によっては入院制限や緊急時の手術制限をする場合もある。二次保健医療圏の医師数の状況を踏まえても、更なる医師の確保が必要である。	派遣された医師が、臨床・研究・教育の能力を発揮し、充実した診療ができ、地域医療に貢献できるよう配慮していきます。
横須賀・三浦	В	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	740	教育体制が整っている。 未来に向けてたかいレベルの医師を育てたいと思っています。	病理:検体数が多く幅広い病理診断の研鑚ができる。解剖数も年1 O件前後を維持しており、専門医取得が可能。
湘南東部	В	医療法人德洲会 湘南藤沢徳洲 会病院	419	神奈川県湘南東部地域の地域医療を支える当院教急や感染症チーム、およびそのバッケアップとしての臨床はもちろん、県下での臨床教育に意欲のある若手医師の採用を積極的に行いたい。層の厚い当院の屋根瓦式教育は、次世代の地域医療を担っていく若手~中堅医師のニーズに沿った良質な研修/指導環境が提供できていると自負している。	当院では日常遭遇する疾病と障害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とりなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み絶えざる自己研鑚を重ねながら、地域で生活する医師を生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について、動地内に対応する医師を育成します。また辻堂駅すぐの立地で、敷地内には職員専用の保育園があります。
湘南東部	В	茅ヶ崎市立病院	401	-	_
湘南西部	В	東海大学医学部付属病院	804	本院が属する神奈川県西部地域は県内でも相対的に医師不足地域であり、将来に渡り、地域医療に貢献する医師の育成と確保を図るため。	特定機能病院として高度医療を提供すると共に、神奈川県ドクター ヘリを運用する高度教命教急センターを併設しています。また、総 合周産期母子医療センターや造血幹細胞移植地域拠点病院、地 域がん診療連携拠点病院として、専門的治療を行っています。
横浜	С	昭和医科大学横浜市北部病院	689	臨床病理診断科 病理診断は、疾患の「最終診断」として、医療の根幹を支える 重要な医行為です。 その重要性は、遺伝子診断、AI診断の普及によっても、増すこ とはあっても減じることはありません。より良い病理診断のた めに、多くの人材を必要としています。	臨床病理診断科 当院は地域の中核病院・地域がん診療連携病院であり、豊富な症 例が経験できます。また昭和大学の他の付属病院の病理部門との 協力関係もあり、いろいろな臓器の専門家から指導を受ける機会も あります。
横浜	С	昭和医科大学藤が丘病院	584	当院は1975年の開院から40年以上が経過し、耐震化や医療の高度化に向けて再整備計画をすすめています。再整備にあたっては、2018年10月に昭和大学、横浜市、東急電鉄の三者で「藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定」を締結し、駅前施設・公園・病院が一体となったまちづくりに取り組むことになりました。そのような状況下で今後ますます当院に対する期待が高まることが予想され、その期待に応えるためにもより多くの優れた医師を養成したいと考えているからです。	当院は大学附属病院としての高度な医療水準を保ちつつ、急性期 医療から難病、リハビリテーションまで様々な疾患を多数診療して います。そのため多彩な症例を数多く経験することができます。大 学病院でありながらも各診療科間・各部門間の垣根が低く、コミュ ニケーションがとりやすい環境の中で患者さん中心のチーム医療を 実践しています。
横浜	С	済生会横浜市東部病院	562	_	_
横浜	С	横浜市立大学附属市民総合医療 センター	655	_	_
横浜	С	横浜市立市民病院	650	の増員を希望しています。また、地域枠の先生は定着率が高	当院は横浜市の基幹施設として急性期医療に積極的に取り組むとともに、救命教急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、第一種感染症指定医療機関、国の地域周産期母子医療センター、そして2019年4月からはがんゲノム医療連携病院な指定されているなど、日常よく遭遇するcommon diseaseから高度に医療を必要とする重症患者や難治性疾患まで十分な経験を積むことができます。また各分野の専門医にコンサルテーションができ、直接の指導を受けることが出来ます。2020年5月には新病院が開院しますので、やる気のある先生方をお待ちしています。ぜひ一緒に新病院で頑張りましょう。
横浜	С	公立大学法人 横浜市立大学附属病院	671	-	女性医師支援をはじめ、働きやすい環境づくりのための各診療科 会議の運用や各種制度の周知などを行っています。
横浜	С	社会福祉法人恩賜財団済生会支 部神奈川県済生会横浜市南部病 院	500	当院は横浜市大関連施設であるため、専門研修ローテーションを含め、医師の赴任離任は大学人事に依り行われているためです。	当院は指導体制も含め各診療科は横浜市大各教室と連携を密に しております。このことからとくに、指導医が複数いる診療科ではサ ブスペシャリティの指導体制も充実しております。
			<u> </u>		